

	「オープンデータ全般について」及び「水戸市のオープンデータ取組みについて」(水戸市情報政策課 北條回答)	基調講演「オープンデータによる地域活性化を考える」(筑波大学川島様回答)	事例「地域の商業復興を目指したオープンデータ活用」(JMAホールディングス 沓内様回答)	事例「地域情報分析システム(RESAS)と流動人口データ活用」(Agoop 福田様回答)
質問	弊社でも、〇〇サイトを持っているので、そのデータの有効活用方法を考えています。まちにある各データとつき合わせたいです。【一部編集させていただきます。】			
回答				
質問	オープンデータ利活用研究会に大変期待しています。この研究会は物理的に人が集まる拠点はもたれるのでしょうか？			
回答	今年度の開催(今後2回程度予定)については、水戸市内を会場に研究会を実施する予定です。(最初なので、実際に集まったの研究会とさせていただきたいと思います。)参加研究会の参加については無料ですが、会場までの交通費の御負担は、恐縮ですがお願いします。			
質問	水戸市の場合、データの中での辺までオープンにして頂けるのか箇条書きでも良いので教えてください。	Spaadaを使った地域活性化の成功事例を2〜3つ教えてください。	街の活性化と人口減少対策の2本の柱で活動していますがこの大津市の事例でどれだけの経済効果があったのか教えてください。	人口流動データと関連して、RESASを活用しての人口減少対策として雇用の創出がポイントだと思いますが、雇用対策としてのヒントがあればいくつか教えてください。
回答	原則、他市で公開しているデータは本市でも公開できるものとの考えで進めていきたいと思っています。また、「このようなデータを公開してほしい」といった要望があれば、検討できるような体制を整備してまいります。なお、データのリストアップについては、少しお待ちいただければと思います。	Spaadaは、産まれたばかりのサービスです。まだ、地域活性化事例については伺っておりません。直接、Spaadaの運営主体である(株)マイクロベースにお尋ねください。http://microbase.co/	各店舗の事業者は、お客様に最新情報を提供する必要性を実感されており、スマホを活用したこの手段は有効である評価しています。なお、具体的に効果を数値化したものはありません。	現在では、RESASから雇用対策がなされた事例は見受けられません。今後、RESAS活用の勉強会などが全国で開催されておりますので、今後に期待といったところでです。【水戸市回答】
質問	とても良い取り組みだと思えます。民間事業者や市民が使いやすいデータとなることを期待しています。気になる点として、二次活用できるデータとのことですが、プラットフォームの問題やデータ加工の技術に弱い人は、なかなか活用がむずかしいでしょうか	オープンデータにより新しいイノベーションが生まれることを期待しています。オープンデータの活用事例など参考になりました。	スマホでオープンデータを活用した例が良かった。今後のデータ活用も、PCと言うよりは、スマホなどの携帯できるデバイスのほうが主体になっていくと感じます。	リーサスデータに関しては、データの根拠が立証しづらい点、人口滞在メッシュが荒い点などが実用する上で使いにくい。ただ、今後、オープンデータの活用が広がることで、もっと使いやすいデータになるかと思うので期待しております。
回答	データ公開のプラットフォームについては、今後、他市の状況等も研究し、より良いものを提供できるよう検討してまいります。技術面につきましては、初歩から学べるセミナーなど企画できればと考えております。			データの精度をあげるため、アプリユーザーの数、質とも充実させる取組みは現在も進めており、今後のデータ充実に向け努力してまいります。現状Agoopは、他社と比較して細やかな単位で提供しております(250m)。更に今後100mメッシュについても生成を進めております。

	「オープンデータ全般について」及び「水戸市のオープンデータ取組みについて」(水戸市情報政策課 北條回答)	基調講演「オープンデータによる地域活性化を考える」(筑波大学川島様回答)	事例「地域の商業復興を目指したオープンデータ活用」(JMAホールディングス 沓内様回答)	事例「地域情報分析システム(RESAS)と流動人口データ活用」(Agoop 福田様回答)
質問		オープンデータとして公開する項目の統一基準がほしいと考えている。例)統計情報の公開としても、A市では大字別の年齢かつ男女別が提供されるのにB市では年齢別のみの情報であった場合、利用者側は比較しにくい(つかいにくい)情報で活用促進をさまたげるのではないかと思う。		
回答		ご指摘の通り、現実には、コンテンツの分野別にデータ構造の標準化の議論が進められています。たとえば、(独)情報処理推進機構(IPA)は共通語彙基盤整備事業を展開しています。 http://goikiban.ipa.go.jp/		
質問		データの公開という観点でパーソナルデータについて昨今議論が行われています。パーソナルデータをオープンデータとして公開する事についてはどのようなお考えでしょうか？		
回答		プライバシーに関わるデータであっても、できるだけ活用する部分と守秘すべき部分とを峻別して社会のために役立てようという観点から生まれた概念がパーソナルデータです。つまり、個人のプライバシーに関わるデータであっても、匿名化することによって集計・加工・分析可能とするための法制度を整備することが現在すすめられており、適切な処理をしたうえで、公開・非公開の判断を精度高く行っていこうという議論が進められています。		
質問	金融機関と市がどのように連携していくのか具体的にお話できればありがたいです。			
回答	水戸市のオープンデータを使って、金融機関がより融資をしやすい環境をつくり、また、企業へのコンサルタント業務を行いやすい環境ができればと考えております。今年度中に、先進自治体の方をお招きし、今後、事例紹介をして頂きながら、水戸市での事業モデルなどを検討できればと考えております。			
質問	水戸市におけるシビックテックの考えに基づく取組みは素晴らしいと思います。* * 市においても、取組みのきっかけになればと、茨城県域統合型GISを活用で職員に対して操作研修を行ったところ。今後は全庁的に展開しオープンデータの活用につながればと考えています。	* * 市においても、公開できれば様々な用途に活用できる情報があると思いますので、今後は職員に対し、オープンデータの重要性を改めて認識してもらい、可能なものからオープンデータ化できればと考えております。オープンデータとして無償で提供した情報が営利目的利用可ということで、有償で提供可能ということについて考えを整理したいと思います。	1つのイベントに対しても、様々なアイデアに基づきアプリが作成できることに改めて気付かされました。本市においても各イベントについては、主にホームページ等で情報提供しているところですが、今後はよりアプリを活用した情報提供を研究したいと思います。	流動人口データについては、市の政策にも活用できると思いますので今後、関係部署と情報共有し、活用について検討していきたいと思います。
回答				

	「オープンデータ全般について」及び「水戸市のオープンデータ取組みについて」(水戸市情報政策課 北條回答)	基調講演「オープンデータによる地域活性化を考える」(筑波大学川島様回答)	事例「地域の商業復興を目指したオープンデータ活用」(JMAホールディングス 沓内様回答)	事例「地域情報分析システム(RESAS)と流動人口データ活用」(Agoop 福田様回答)
質問	オープンデータライブラリのデータの鮮度を保つために何か工夫されていますか？ オープンデータライブラリの設置を決めたきっかけは何ですか？ (市長等のトップダウン？担当課からのボトムアップ？)			RESASを使いこなすにはデータ分析のノウハウが必要だと感じました。ナレッジが共有される場がありますか？
回答	現状では、最新性を確保するための業務は、情報政策課職員が行っております。こうした鮮度の確保については、多くの自治体でテーマになっているようです。 データ量が増えれば、本市でも、データ提供部署が効率よくメンテナンスができる環境が必要であると考えております。 なお、オープンデータを推進するに当たって、首長の理解は非常に重要です。本市でも、市長自ら有用なアプリ等に「水戸市長特別賞」を贈呈するといった取組みを行っております。			全国のRESASセミナーや政策コンテスト等の実施で、活用方法については積極的に共有されておりますが、現状ノウハウのナレッジ共有の場というのはいないかと思えます。 ノウハウというより、RESASを使い正しく分析するうえで、弊社データの特性と表示している結果について正しく理解頂くことが重要かと思えます。ご不明点あればお気軽にAgoopまでお問い合わせくださいませ。
質問	①オープンデータを活用した取組みを、データを作成している担当課にフィードバックする具体的な計画は考えているか(担当課を巻き込んだアイデアソン・ハッカソン、業務に活用できるアプリ開発等) ②水戸市HP上で公開しているデータと、オープンデータライブラリに掲載しているデータが重複している場合、今後も並行して公開していくのか。データ公開場所の一元化を考えているか			
回答	①非常に良い取組みであると思えます。すでに先進都市では、担当課によるアイデアソンを実施しているとお話を聞いております。水戸市も、今後取組みができればと考えております。 ②データの鮮度確保のお話からも、二重管理は非効率的でありますので、今後、公開方法を検討して行くこととしております。			
質問	市が保有するデータ(情報)を市も全ては把握できていないし、市民や企業も把握できていないのが多くの自治体での障壁としてあると思うが、この点について水戸市では何か解決策を考えているか。			
回答	今回の研究会において、企業の方々の必要な情報が何であるか、市の保有するデータにどのような価値があるのか、研究を行ってまいりますので、ぜひ御参加ください。			

	「オープンデータ全般について」及び「水戸市のオープンデータ取組みについて」(水戸市情報政策課 北條回答)	基調講演「オープンデータによる地域活性化を考える」(筑波大学川島様回答)	事例「地域の商業復興を目指したオープンデータ活用」(JMAホールディングス 沓内様回答)	事例「地域情報分析システム(RESAS)と流動人口データ活用」(Agoop 福田様回答)
質問		地域課題の収集方法は?(個別)		
回答		地域課題の収集は、新聞などのメディアで取り上げられている課題を収集する方法。アンケートによる方法。ICTを活用した方法など様々です。ICTを活用した地域課題の収集方法としては、FixMyStreetがよく知られています。https://www.fixmystreet.jp/		
質問	オープンデータそのものに対して水戸市での周知がされているのか?	観光や地震情報などでオープンデータを活用できないか。例えば観光地のたべものに対して放射能の数値が連動するなど		
回答	昨年度から、オープンデータへの取組み及びイベントを行って、市民に皆様との参加型イベントも何度が開催しております。しかし、周知はまだですので、研究会や地方創生へのデータ活用の重要性などもアピールすることにより、さらなる周知を図ってまいります。			
質問	高齢になればなるほど、データというものになじみが少ないと思います。自由にデータを活用することで、今まで見えなかったものが見えたり、その情報を活用することでより生活が便利になったりしますが、高齢者にとってはその情報にアクセスしたり活用することはハードルが高いと感じます。データを公開し、それを活用して新たな情報を得て、さらにその情報を若者向けや高齢者向けといったように対象者に合わせて分かりやすく提供していく必要があるのではないかと思います。	オープンデータを分析したり、複数のデータを組み合わせることで、新たな情報が生まれ、それが地域課題の解決につながると思います。いかに企業や市民などに周知をし協力を得ていくかが有効活用のカギになると感じます。	その地域のお祭りや花火大会など、他地域から多くの人が集まるビッグイベントについてそのデータを活用し来年のイベント時に利用したり、観光に生かす取り組みは地域活性化に役立つと感じました。また、情報を分かりやすく提供することでイベント時の混乱が防げ、より安全に楽しんでいただくなと思います(イベント時の安全性の確保は主催者としては非常に大事。)	日々大量のデータが蓄積されていくと思いますので、どのようにデータを保持していますか。(すでにデータベースがいっぱいになってしまいそうなので)
回答	オープンデータを活用する一つの目的として、市民の皆様が行政により関心を持っていただき、市民参加型の新たな行政のあり方を作って行くことがあります。それぞれの年代のニーズや目的に合わせて、データを活用し提供するシーンを研究して行くことも、今後の水戸市としても重要になると考えております。			弊社サーバーにて負荷なく収集をし管理しておりますので、データベースが一杯になることはありません。なお、サーバーの詳細については回答を控えさせていただきます。